2015 年 9 月発行 No.MCP61-02

型式：HCP-613H(613W)／ HCP-618
クラッチディスクパイロットシャフト取扱説明書

この度は、クラッチディスクパイロットシャフトのお買上げ誠にありがとうございます。本ツールは、クラッチディスク組み付け時のセンター出しサポートツールです。正しく、安全にご使用いただくため、作業前に必ず本取扱説明書をお読みいただき、内容を十分にご理解いただいた上で、注意事項を遵守してご使用下さい。また、各作業車両毎にメーカーの整備要領書を用意し、注意事項、基準値、作業ポイントなどは、メーカー指示に従って作業を行ってください。

適用・仕様

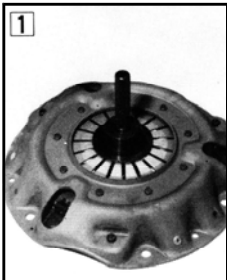
- HCP-613H　軽自動車～小型トラック用
  チャック開口径φ 15.4 ～φ 26.2
  FF ガイド適用径φ 29 ～φ 69
- HCP-613W　乗用車・複板用
  適用スプライン小径φ 20 ～φ 26
- HCP-618　2 t車～大型車
  チャック開口径φ 25.8 ～φ 46.9

上記適用車種は参考です。一部不適合車種、オプション部品が必要な場合もあります。

↑ HCP-613W
← HCP-613H
↑ HCP-618

○部品発注の際は、本セットをご購入された販売店にお申し込みください。
○この取扱い説明書は、作業時すぐ確認できる場所に保管して下さい。紛失された時は、販売店または当社営業所宛てご請求ください。

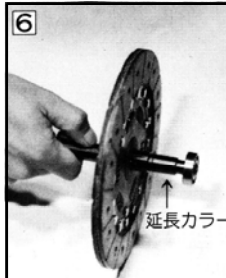
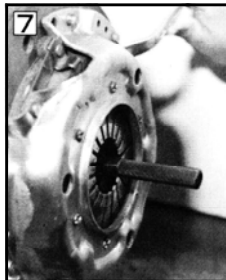
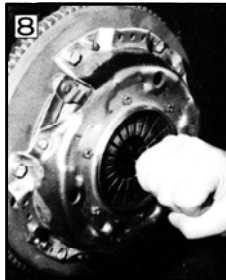
使用方法(HCP-613H の場合)

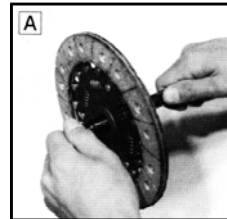
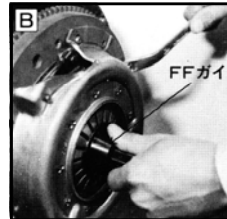
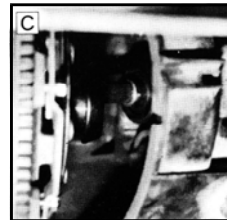
FF ガイドの使用方法以外、 HCP-618 も同様。

シャフト大小の内、クラッチディスクのスプライン径にチャックサイズが合うものを選択します。
＊FF車などパイロットベアリングを使用しない車種の場合は、右側のFFガイド使用方法を参照してください。

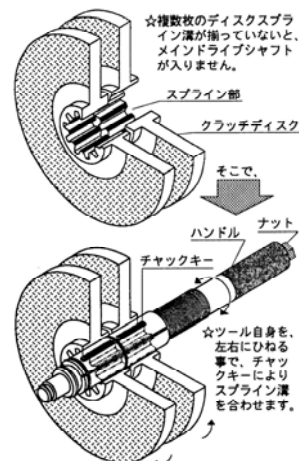
パイロットベアリング（ブッシュ）内径に合うパイロットカラーを選択します。
＊旧型車などでサイズの合わない場合は、オプションサイズも用意いたしておりますので、お問い合わせください。

センターボルトを外し、パイロットカラーを通して再度組み付けます。＊ネジ部および可動部には、モリブデングリスを切らさずに塗布してください。

クラッチディスクのスプライン部に通します。先端パイロットカラー部を押さえながら、ハンドルを右にひねり、チャック部を拡張させてスプライン径に軽く合わせてます。

フライホイール側のパイロットベアリング（ブッシュ）に、パイロットカラー部を挿入します。その後、ハンドルをもう一度右にひねりディスクおよびシャフトにガタがないことを確認してください。

パイロットベアリング（ブッシュ）が奥深くにあり、パイロットカラーが届かない時は、延長カラー（刻印無し）をパイロットカラーとチャックの間に通し、再度組み直してください。

7. クラッチカバーを取り付けます。

8. 組み付け完了後、ハンドルを左にひねり、シャフトを抜き取ってください。
＊ハンドルをひねらず、チャックが拡張したままで引き抜こうとすると、ディスクスプライン部および本ツールが損傷します。

FFガイド使用方法

シャフトからパイロットカラーを抜き取った状態で、ディスクスプライン径に合わせます。
クラッチカバーを重ね、ハンドル後端からFFガイド（ダイヤフラム内径にテーパー面が合う方から）をネジ込み、ディスクとカバーをセンターが出た状態で固定します。
そのまま、フライホイール側に組み付けます。＊パイロットベアリング（ブッシュ）のある場合は、左側の標準手順で作業してください。

軽自動車などの場合、ハンドル（ショート）を使用すると、ミッションケースを降ろさず、すき間から作業できる場合もあります。

複板ディスクの使用方法(HCP-613W の場合)

手順４までは通常通り作業します。この段階でハンドル後部のナットを締め付け、チャックがそれ以上拡張しないようにロックします。この状態で、ハンドルを左右に軽く数回ひねり複数ディスクのスプラインミゾ位置を合わせます。手順5に戻り、ナットをゆるめ先へ進んでください。

製造元：林精鋼株式会社　埼玉県朝霞市栄町３－６－45